

【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡してください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】

メールニュース

No.22-48
2022年 9月8日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

沖縄統一連・全国からの支援者が奮闘中 玉城デニー・上原カイザ候補の勝利を 台風接近、期日前投票を呼びかける

演説会で訴える玉城デニーさん



統一連の朝の全体打ち合わせ

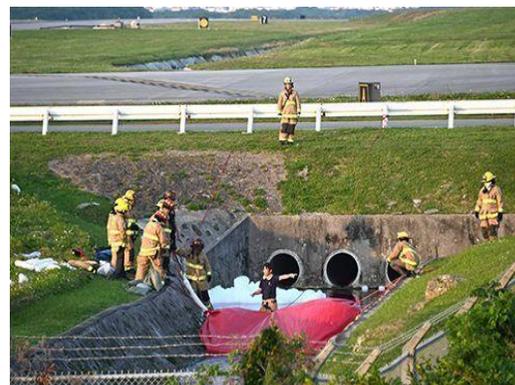
沖縄県統一連は、連日 8 時から国道 58 号線の前島交差点で、40 人を超す人数で朝宣伝を行っています。

全国からの現地支援者は、6・7日は午前中、宜野湾市の普天間基地に隣接する沖縄国際大学付近の住宅地にビラ配付と、那覇市内の各地域に分かれて「玉城デニー知事の再選」「県議補選は上原カイザさんへ」などと訴えるハンドマイク宣伝。午後も那覇市内の各地域に分かれてハンドマイク宣伝を行いました。統一連カーは終日、市内を

回り、玉城デニー知事と上原カイザさんへの支持を訴えました。

安保大阪の支援者は8月20日以来連日6~8人が名護市で奮闘しています。

「玉城デニー街頭演説会」が7日夕方、県民ひろば(県庁前)で開かれました。玉城デニー氏は、「今回も勝ちたい。これが沖縄県民の民意だ」と強調し、支援を訴えました。演説会には、県議補選の上原カイザ候補者、宜野湾市長選の仲西春雅候補者の必勝も呼びかけられました。会はこの最後とみられます。



「学校の裏門付近では土壌1グラム当たりPFOS 1.1ナノグラムとPFOA 0.6ナノグラム、グラウンド南側のバックネット裏ではPFOS 0.7ナノグラムとPFOA 0.3ナノグラムが検出された」今回検出されたPFOSは、裏門付近で米基準の29倍、バックネット裏で18倍だった」と報じています。同校の保護者からは、防衛局や県、市などの行政に早急な対応を求める声が上がっています。同基地への立ち入り調査が求められます。

沖縄の普天間基地に隣接する「宜野湾ちゅうら水会」が9月5日、宜野湾市立普天間第二小の土壌にPFASが検出され、米国の基準値の最大29倍だったことが発表されました。市民団体の「学校タイムス(5日付)」は、

沖縄
宜野湾市

米国基準 29 倍の有機フッ素化合物
普天間基地隣接の小学校

辺野古のサンゴ移植、国の申請を不許可 沖縄県「工事は不可能」

(朝日新聞デジタル 9月5日付)

米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の名護市辺野古への移設計画をめぐる、沖縄県は5日、防衛省が申請した約8万4千群体のサンゴ移植を不許可にした。対象のサンゴの生息域は、辺野古沖で判明した軟弱地盤のために地盤改良が必要な区域で、県は「工事を実施することは不可能」と判断した。

(中略) 軟弱地盤区域のサンゴ移植の申請は3回目、いずれも不許可とされた。防衛省はサンゴが成長し対象が増えたとして、過去に申請した約3万5千群体の約2.4倍にあたる約8万4千群体の移植を、今年7月に県に申請していた。

9 月度常任幹事会(オンライン兼)について

9月14日(水) 午後3時~全労連会館 3F 全労連会議室 参加をお願いします。